06 生き生き感性アート ―臨床美術入門講座(2025前期)―

申込締切 6/5(木)

講　師　保坂　遊（子ども支援学部教授）

講座日時	金曜日（全3回）10：30～12：00【90分】
定　員	各日30名
受講料	≪一般≫6,000円　≪在学生≫3,000円
持ち物	作品を持ち帰る袋

※本講座は1回ずつの受講が可能です。申込の際、希望日を明記ください。希望日の記載がない場合は全3回の申込といたします。受講料は1回につき《一般》2,000円《在学生》1,000円となります。

開催日

❶6月20日(金) **アンスリウムを描く**
南国の雰囲気を感じながら、熱帯植物独特の色彩、形、質感を表現します。

❷7月 4日(金) **ストライプコンポジション**
赤色の画面に描いたストライプをコラージュで再構成することで、新たな反復する線のリズムのデザインを楽しみます。

❸8月29日(金) **ガラス絵サボテン**
ガラスに広げた絵の具をふき取り、スクラッチによる線や点により、さまざまなサボテンの形を表現します。

講師プロフィール

東京家政大学子ども支援学部長　子ども支援学科教授　臨床美術士1級　彫刻家　臨床美術学会／日本臨床美術協会副会長

大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら，臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育―福祉―医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

講座内容

「臨床美術」とは、豊かな感性と創造力を引き出す独自のアートプログラムを用いて美術創作を楽しむそのプロセスによって、認知症ケア、介護予防、また保育・教育現場、また様々な子どもへの実践へとニーズが広がっているアートセラピーです。「生き生き感性アート」も3年目を迎えることができました。毎回それぞれのテーマに沿って、五感で感じたことをユニークな手法によって制作しながら、個性溢れる美術表現の世界を皆さんと一緒に楽しみましょう。

1回目

2回目

3回目